



上高瀬小だより

12月
14日号

〈発行〉
三豊市立
上高瀬小学校



今週、もち米を持って帰ります おいしく食べてください!

5年生が地域の人たちや保護者の皆さんと一緒に稲刈り、脱穀して収穫したもち米。いつもの年なら全校生でもちつき大会をして、自分でついで丸めたお餅を持ち帰っていましたが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにできませんでした。

そこで、5年生は、もち米をお世話になった人や全校生に配ろうと、重さを量り袋詰めしました。袋の中には、5年生からのメッセージも入っています。もち米では、おもちの他にも、おはぎ、おこわ、赤飯などができます。また、白米にもち米を少し入れて炊くだけでも、おいしいもちりご飯ができあがります。

それぞれのご家庭で調理を工夫し、おいしく食べてください。



租税教室 6年



11月27日、6年生は、税金の種類や税金の使い道について学びました。税務署の方が講師として来てくださいました。そして、税金には、所得税、相続税、消費税、酒税、たばこ税、住民税などたくさんの種類があることを知りました。また、税金は消防署や自分たちが通っている学校、教科書にも使われていることを知り、税金の大切さを実感していました。

児童会主催「上小オリンピック」



11月26日から12月4日まで、児童会主催の「上小オリンピック」が行われました。今年は、縦割りの活動がほとんどできなかったため、何か密にならずに楽しいことはできないかと児童会が企画してくれました。競技は、色別対抗の「しっぽ取り鬼ごっこ」です。

トーナメント制で、毎日昼休みに二試合ずつ。準備や進行は、すべて児童会の人たちが行いました。はじめは、戸惑うことがありましたが、回を重ねるごとに、進行がスムーズになり時間以内に終わるようになりました。12月4日には、白1チームと黄2チームの決勝が行われ、金メダルは、白1チームが獲得しました。白1チームのみなさん、おめでとう!そして、児童会のみなさん、ありがとう!



香川県警戒レベルが再び「感染警戒期」に



2学期に入り、少しずついろいろな行事や活動ができるようになり、このまま新型コロナウイルス感染が収束してくれればと切に願っていました。しかし、11月中旬から、全国的に新型コロナウイルス感染が拡大し、香川県も12月9日に警戒レベルが「感染警戒期」に引き上げられました。

学校では、7月の危機意識を再度思い出し、感染予防に取り組み、子どもたちの健康を守っていかねばいけないと思っています。今までに行っていた手洗い、マスク着用、三密回避に加え、これからの季節は、換気と加湿が重要です。飛沫が、教室内で長時間浮遊しないように、加湿器の設置、換気の徹底を行っています。また、様々な集会や終業式も体育館にはできるだけ集まらず、放送やリモートで行う予定にしています。

今日から寒波が襲来ということです。コロナウイルスだけでなく、インフルエンザや風邪等にもかからないように、留意していきます。ご家庭においても、子どもたちが感染予防や規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯)ができるように、引き続きよろしくご協力をお願いいたします。

12月24日には、全校生216名が元気に登校し、長かった2学期を締めくくることができればいいなあとと思っています。